

していただき、できるだけ赤字幅を圧縮したいとの考え方を、2月20日の同会議にお示しし、ご了承を頂いたところで。

なお、当初購入の旧型5台を21年度から23年度までの年次計画により、新型車両に切り替えることとし、また、旧型リース分3台はリース期間満了に合わせて、新型車両にリース替えしていく考えです。

20年度の運行経費の不足分を補正予算に計上するとともに、新年度予算も同様に運行経費の不足分、車両更新に係るリース料など、また、効率化などの検討を進めるためのコミュニティバス検討専門委員会議の開催回数増に伴う報酬額を計上しています。

なお、運行5周年を記念して、1月9日から販売を開始した「まめバスチョロQ」は、即日完売となりました。

多くの市民が購入できず、品切れ後も購入を希望される方からの問い合わせが数多く寄せられていることから、6千個を追加販売することとしました。

販売方法は、確実に市民が購入できるよう、市の窓口で、市民限定の予約申込みによる販売

を実施することとし、市報とホームページでお知らせしていきます。

安全安心なまちづくりの推進

◆災害時要援護者支援計画

2月1日現在で、計画に沿って取り組んでいる自治会などは28団体、うち個別避難支援計画まで整備した団体が13団体、要援護者登録者数は154名です。

◆自主防災組織の組織化

また、自主防災組織は16組織、世帯数での組織率は37・2パーセントです。

◆まめばん

「野田市南部安全安心ステーション」(通称「まめばん」)は、これまでの業務内容を分析した結果、19時を過ぎた業務件数から、4月から「まめばん」の開設日はこれまで通り365日無休体制としますが、開設時間は14時から19時までとし、開設時間外は現在設置の緊急通報電話により対応していきます。

また、北部地区への「まめばん」の設置は、地元からロックタウン内に無償で使用できる土地の提供の申し出がありました



地区ごとのパトロールで犯罪を防止

ので、21年度中に開設したいと考え、関係予算を新年度予算に計上しています。

防犯組合では、野田警察署と連携し、「年末一斉パトロール」を支部単位で、昨年12月18日から23日にかけて約2千人の参加をいただき実施しました。

また、2月6日には文化会館で「防犯合同研修会」を開催しました。

なお、支部の傘下となる自主防犯組織数は2月1日現在、318自治会で全自治会の83・7パーセントです。

都市基盤・生活関連施設の整備

梅郷駅東口は、東口北側方面から駅への利便性の向上を図るため、自転車歩行者道の整備を



梅郷駅東口北側の歩道整備も

進めていきます。

梅郷西駅前線は、昨年供用開始した2工区に引き続き、東側の用地取得を実施し、堤台柳沢線と次木古布内線は、引き続き用地取得を進めていきます。

県施行の都市計画道路清水上花輪線は、現事業区間は21年度中には完了する予定で、また、事業認可区間を南側に約240メートル延伸する作業を進めているとのことです。

川間駅北口駅前広場は、21年度都市計画変更を予定し、事業化に向けて用地測量の予算を計上しています。

福祉・医療の充実

◆障害福祉計画

障害者自立支援法の規定に基



「障害者総合相談・就労支援センター」では求人情報の提供も

づき、3年間ごとの数値目標を設定し策定していますが、今年度で第1期計画期間が満了することから、現在第2期計画を策定中で、2月27日に障害者基本計画推進協議会で答申を頂きました。

答申を踏まえ計画を決定し、障害者総合相談・就労支援センター機能の活用とともに市単独事業も組み合わせながら、障害者の地域生活移行、就労支援を積極的に推進し、より充実した質の高いサービスの提供に努めたいと考えています。

◆老人福祉計画及び介護保険事業計画

今回の見直しに際し介護保険制度の大きな改正がなかったことから、基本的には第3期シルバープランを踏襲することとし、